

2019年4月1日

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構

マレーシアにおけるコールドチェーン物流事業
(マレーシア コールドチェーン物流運営事業)への支援を決定

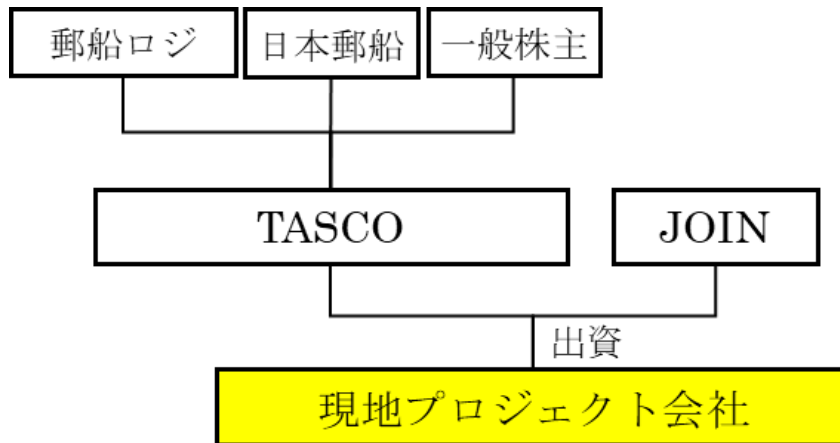
株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（東京都千代田区、代表取締役社長：波多野琢磨、以下「JOIN」）は、郵船ロジスティクス株式会社（東京都港区、代表取締役社長：水島 健二、以下「郵船ロジ」）の子会社である TASCO Berhad（クアラルンプール、Non-Independent Executive Chairman：Lee Check Poh、以下「TASCO」）と共に、マレーシアにおけるコールドチェーン物流事業に参画するため、今後約 36 億円の出資を行うことを決定し、国土交通大臣の認可を得ました。

本事業は、クアラルンプール近郊において、コールドチェーン物流（低温物流）の運営を行う事業です。近年マレーシアでは、経済成長による冷凍・冷蔵食品の消費量の増加に伴い、コールドチェーン物流の需要が高まっています。本事業においては、ハラル食品物流の ASEAN 地域等への展開も図る計画です。

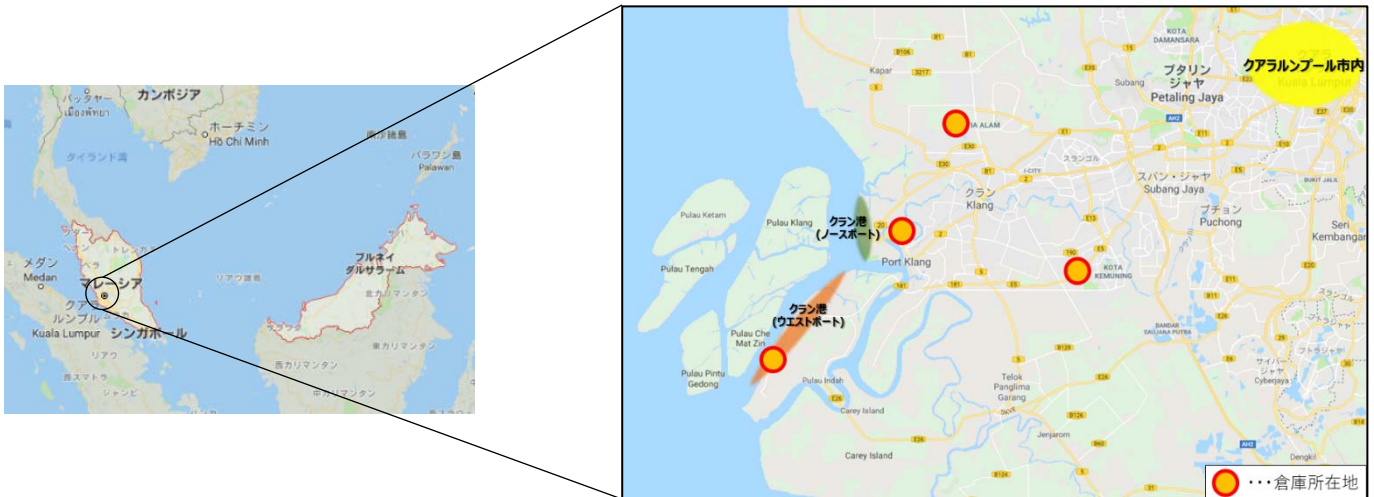
JOIN は、本邦企業による海外コールドチェーン物流事業への参入を支援いたします。本事業を通じて、本邦企業が有する物流事業の知見やグローバルネットワークを活用し、マレーシアのみならず今後もコールドチェーン物流の需要の伸びが予測される ASEAN 地域等への本邦企業の事業展開を支援致します。

(問い合わせ先)	株式会社海外交通・都市開発事業支援機構 事業推進部 川上 TEL：03-5293-6723 FAX：03-3218-5561
----------	--

(事業スキーム)



(位置図)



(出典: Google Map を JOIN にて加工)

(プロジェクト・サイト写真)



(出典: TASCO)